

第42回理事会 議事録

1 開催場所

札幌市中央区北5条西6丁目 札幌センタービル5階 C1会議室

2 開催日時

2023年1月27日(金) 15時00分から16時00分まで

3 理事総数 9名

4 出欠等の状況

理事(出席)	8名	阿部 啓二、佐藤 季規、谷 一之、田村 亨 土谷 将人、東川 敏文、水野 治、山崎 弘善
理事(欠席)	1名	林 美香子
監事(出席)	2名	末永 仁宏、山本 眞樹夫
議事録作成者		土谷 将人(専務理事)

5 定足数の報告

定刻に至り、阿部理事長が挨拶の後、理事9名のうち過半数が出席しているので、定款第41条の規定により本理事会が成立している旨を告げた。

6 議案の審議状況及び議決の結果等

次に、阿部理事長から定款44条第2項の規定により、議事録署名人を理事長、末永監事、山本監事とする旨を告げて議事に入った。

報告事項1「2022年度事業実施状況(中間報告)について」及び報告事項2「2022年度決算見込みについて」の件

土谷専務理事から、資料1に基づき2022年度の事業実施状況について、「代表理事の業務執行報告」を兼ねて説明し、引き続いて善行部長から資料2に基づき2022年度決算見込みについて説明があった。

本件に関して、山崎理事から、受託事業について、どの機関に応募しどれくらい採択されたのかと質問があり、これに対して小倉部長から、今年度に関しては、北海道経済産業局、北海道庁に応募し、全て採択された旨の説明をした。

次に、東川理事から、地域ネットワーク支援事業は事業としてはあるが、なぜ支援要請がないのか。地域づくり活動発掘・支援事業と分けをせず、同じ枠組みでもいいのではないかとの意見があり、これに対して土谷専務理事から、地域のニーズを拾い切れていないのはあるが、公益認定を受ける際に必ずしも財団が独自でやることには拘らない記載となっている。来年度は、国の事業を受け、地域ネットワークの支援をやっていくことを、事業計画の中で改めて見直したいと考えている旨を説明した。

次に、田村理事から、ホームページが充実してきている中、関係先の自治体や地域の方々からどれくらいキャッチアップし、反応しているのか、デジタル化の評価について質問があり、

これに対して小倉部長から、北海道経済産業局や北海道庁から依頼されて財団からメールマガジンを配信すると集客が早いと聞いている。頼られているところは評価の1つだと思う。また、メールマガジンを配信することで、チラシ作成が不要になるなど、効率化にも繋がっており、財団としてもいいプラットフォームになっていると感じている旨を説明した。

さらに、田村理事から、地域おこし協力隊を含め若い世代はアンテナを立てている。北海道がどういう形で活性化していくのか興味を持っている人は多いので、地域活性化に関してのいい情報を提供するための努力をし、PRしていただきたいとの意見があった。

7 その他

会議次第4「その他」に入り、議長から役員及び事務局に発言等を求め、善行部長から「第1回あり方検討会議」についての報告をした。また、次回理事会の開催予定の説明し、その後特に発言はなく、議長が「以上をもって本日の議事は、全て終了した」と宣言し、16時00分に理事会を閉会し、解散した。

上記の議決等を明確にするため、定款第44条第2項の規定に基づき、出席した理事長及び監事は、本議事録に署名、捺印する。

2023年2月3日

公益財団法人 はまなす財団 第42回理事会

理 事 長 阿 部 啓 二 ㊟

監 事 末 永 仁 宏 ㊟

監 事 山 本 眞 樹 夫 ㊟